

## 「精巣腫瘍の発癌・腫瘍進展における分子機構の解明」のお知らせとお願い

### 1. 研究の対象

平成元年から平成 24 年 5 月までの間に、防衛医科大学校病院において原発性精巣腫瘍の手術を受けられた患者さんのうち、防衛医科大学校病院検査部に手術時切除組織のホルマリン固定パラフィン包埋標本が保存されている約 130 名の方を対象とします。

### 2. 研究目的・方法

現在、原発性精巣腫瘍の治療においては、精巣摘出術という手術の後に放射線療法や化学療法などの後療法が用いられるのが一般的です。精巣腫瘍は、生命予後が比較的良好な セミノーマと、治療に抵抗性を示し、転移や再発を来すことが多い非セミノーマに大きく分けられています。また、精巣腫瘍では、セミノーマが非セミノーマに変化して悪性度を増すと一般的に考えられています。私たちは原発性精巣腫瘍に対する手術を受けられた患者さんの病理検査標本を用い、精巣の細胞が腫瘍化する際や腫瘍になったあとで生じた腫瘍細胞の中の異常な分子や染色体の変化を調べることで、腫瘍の発生や進展の仕組みを推定する研究を進めています。研究期間は平成 32 年 4 月までを予定しています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：手術で摘出した組織のホルマリン固定パラフィン包埋標本

情報：病歴、血清腫瘍マーカー値、抗がん剤治療・放射線療法の治療歴、副作用等の発生状況 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校病院泌尿器科学講座 浅野 友彦

TEL:042-995-1511 (内線 3136)

研究責任者：

防衛医科大学校病態病理学講座 宮居 弘輔